

研究主題      言葉を豊かにし、自分の考えや思いをもち表現できる児童の育成 ～国語科指導法の充実～
--

小学校第4学年国語科学習指導案

日時 令和3年10月14日第5校時

対象                    第 4 学 年

学校名                新宿区立戸山小学校

1 単元名    登場人物の変化を読み取ろう  
 学習材名 「ごんぎつね」

2 単元の目標

- 心情や情景の変化をとらえ、語彙を豊かにしながら登場人物の変化を読むことができる。
- 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
- 言葉がもつよさに気付き、国語を大切に、思いや考えを伝えようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単 元 の 評 価 規 準	①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語句を豊かにしている。 (1)才)	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	①登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像したり、学習課題に沿って感じたことや考えたことを進んで文章にまとめようとしてしている。
学 習 活 動 に 即 した 具 体 的 な 評 価 基 準	① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句にサイドラインを引くことができる。	①「読むこと」において、登場人物の性格や心情の変化、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに、気付いている。	①学習の見通しをもって、読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方などに積極的に気付こうとしている。 ②叙述に着目して物語を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。

#### 4 児童観

(1) (1) 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果を分析しての児童の実態

※以下、「当てはまる・・・A」「どちらかといえば当てはまる・・・B」「どちらかといえば当てはまらない・・・C」「当てはまらない・・・D」とする。

※グラフは末尾のページ参照

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」で実施した各教科に対する意識調査の結果を見ると、国語では「よく分かる・・・40.9%」「どちらかといえば分かる・・・50.4%」「どちらかといえば分からない・・・7.9%」「ほとんど分からない・・・0.9%」となっており、国語の学習が分からないと思っている児童はそれほど多くないと言える。

しかし、学習の進め方についての意識調査では「(6) 学習の途中で、自分がどのくらい分かっているのかを考えている。」の項目が A 13.2%、B 25.9%となっており、少ない。一方で「テストで間違えた時、なぜ間違えたかを考えている。」の項目が、A 37.2%と多い。このことから、テストの点数を指標とし、国語は、分かっているつもりでも、毎時間の授業では、どこまで理解すれば良いのかという目標値を認識していないことが想定される。

また、「他の人の意見が違った時に質問をして相手の考えを確かめている。」と「他の人や先生に相談しながら考えている。」の二つの項目についてのAB合計が、22.0%、19.7%と低い数値となっている。現在の新型コロナウイルス感染症対策のため、対話やグループ活動を制限していることも交流体験の少なさに影響をしていると考えられる。

学習する理由については、「わかることやできることが楽しいから。」「しっかり考えられるようになりたいから。」「将来の仕事や生活に役立つから。」「友達や先生と学習するのが楽しいから。」の項目のABの合計が、いずれも80%を超えることから、国語についての有用感としっかり理解したいという意識が高く、人との関わりの中で分かるようになった時の達成感や喜びが、次の学習の意欲につながっている。

国語の学習についての具体的な意識調査ではABを合計しても80%を超える項目がなく、「当てはまる」だけで50%を超える項目はない。特に、「(2) 他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。」A 15.2%、「(5) 文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。」A 19.2%、「(6) 文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。」A 17.4%の三項目は他と比較しても顕著に低い。(2) や (5) の項目が低いのは、学習の進め方に関するスキルが身につけていない面がある。

これは新宿区学力定着度調査でも同様の傾向が見られた。学習の進め方については、「自信がない」と回答する児童が多く、「他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。」AB 45.1%、「文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。」AB 56.3%、「文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。」AB 45.7%など、やはり学習を進めるための学習のスキルが身につけていないということが明確になった。それに加え、(6)については、上で述べたように交流体験をもっと意識的に取り入れていく必要性を感じる。

学習する理由については、「わかることやできることが楽しいから。」「しっかり考えられるようにな

りたいから。」「将来の仕事や生活に役立つから。」「友達や先生と学習するのが楽しいから。」の項目のABの合計が、いずれも80%を超えることから、国語についての有用感としっかり理解したいという意識が高く、人との関わりの中で分かるようになった時の達成感や喜びが、次の学習に対する意欲につながっている。

## (2) 児童の実態

### 省略

このことより、第4学年では、次のことを意識して指導していく。

- ・教師が明確な学習目標を設定し、それに対して振り返る場面をもつ。
- ・国語科の学習の進め方を具体的に指導する。
- ・小集団や全体での交流の場を設ける。

それに加え、美しい表現の散りばめられた文学的作品を読むことで、学校全体の課題である語彙力を高め、自分の考えや思いをより具体的にもつことができるであろう。これらのことにより、児童がより主体的に学習に臨み、伝え合う力を高め、思考力や想像力を高めていくことができるであろう。

## 5 教材観

本教材は、いたずら好きのひとりぼっちの小ぎつねごとと同じくひとりぼっちになった兵十が登場する物語である。主人公のごんは兵十の母親の死をきっかけに、兵十をなくさめ、喜ばせようと行動するが、その思いも空しくごんの心は兵十には届かない。それどころか、最終的には兵十から撃たれてしまう。このようにこの物語は心を通じ合わせることでできない悲しさを描いている。児童は、ごんのとった行動が意外な展開になってしまうことに驚きと悲しみをもって読み進めていくことであろう。また、本教材は、「わたし」が語り手となり伝承風に書き進められている。児童にとって、ごんが自分のいたずらを後悔し、気持ちや行動が変容していく様子は共感が持てる場面であると思われる。しかし、いたずらの償いに、毎日栗やまつたけを届けていたごんは、一番気持ちを分かってほしいと願っていた兵十に火縄銃で撃たれてしまうのである。この悲劇的なクライマックスで児童らは、兵十とごんの心が通じ合わない悲しさやどうしようもない切なさを感じるに違いない。児童がごんの気持ちに感情移入しながら、情景や心情をイメージ豊かに読み深められる優れた教材であると言える。

教材の物語の読解を通して、児童に他者の心情を思いやる気持ちや想像力を養い、日本語の語彙の豊かさに触れさせていきたい。

## 6 単元の位置付け

時期	学習材名	学習内容
3年	「ちいちゃんのかげおくり」	・物語の出来事を自分なりに捉え、感想をもつ。
4年	「白いぼうし」	・言葉に注意して、場面と場面のつながりを見付ける。

	「一つの花」  「こんぎつね」  「プラタナスの木」 「初雪のふる日」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な言葉に着目し、作者の思いに迫る。</li> <li>・話し合っ、人物や物語に対する考えを深める。</li> <li>・人物の変化と、出来事の間係を捉える。感想を交流することで、感じ方の違いを楽しむ。</li> </ul>
5年	「たずねびと」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の全体像から考えたことを伝え合う。</li> </ul>

## 7 手立て

### ○学習スキルを定着させるための工夫

- ・叙述から読み取ることを定着させるために、文章にサイドラインを引き、そこから考えを広げていく。
- ・叙述をもとに発表する時の話型を指導する。

(例 「私は〇〇だと思います。なぜなら、〇〇に□□と書いてあるからです。」)

### ○読みを深めるための工夫

- ・読みを深める主発問を投げかけ、そのことについてグループから全体へという段階的な話し合い活動を取り入れる。
- ・日本語に課題がある児童や読むことが苦手な児童も、学習に意欲的に参加できるよう、ヒントカードを用意する。

(例)

ヒントカード  
行動にサイドランを引くときは、  
「ごんは～した。」を探そう。

### ○言葉を豊かにするための工夫

- ・朝学習で、教科書巻末にある「言葉の宝箱」を使い、辞書引き学習を行う。本単元では、登場人物の心情を叙述から読み取り、自分の言葉で表現する。その際、自分の考えに最も近い言葉を見付けられるようにする。

### ○読書活動の工夫

- ・新美南吉の絵本に朝学習や休み時間に親しみ、作者の世界観に近付けられるようにする。

### ○掲示物の工夫

- ・語彙力を高めるために、似ている言葉を集めた掲示物を教室に用意し、授業中いつでも振り返りが行えるようにする。

例 人物を表す言葉→ゆうかん・熱心・たのもしい

心情を表す言葉→むちゅう・打ちこむ・期待

- ・学習の記録を教室に掲示し、児童の学びを継続し、前時に学習したことを常に振り返られるようにする。

8 単元指導計画

時	<input type="checkbox"/> ねらい <input type="checkbox"/> 主な学習活動	◆指導の留意点 【評価規準・評価方法】
1	<input type="checkbox"/> 「ごんぎつね」を読み、物語の内容について初発の感想をまとめることができる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>【めあて】</b>            初めて読んだ感想やぎ間に思ったことをまとめよう。         </div> <input type="checkbox"/> 題名とリード文から、作品のイメージを膨らませる。 <input type="checkbox"/> 範読を聞きながら教材文を読み、初発の感想を書く。 <input type="checkbox"/> 学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。	・教材文に興味をもち、中心となる人物の気持ちの変化をとらえようとしている。 【発言】(態)
2	<input type="checkbox"/> 学習の見通しをもち、物語の構成や特徴を理解する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>【めあて】</b>            「ごんぎつね」の学習計画を立てよう。         </div> <input type="checkbox"/> 初発の感想を共有する。 <input type="checkbox"/> 物語の設定を大まかに確認する。(時、場所、人物) <input type="checkbox"/> ごんの行動に線を引く意図を確認する。 <input type="checkbox"/> 登場人物の気持ちの読み取り方を押さえる。	◆サイドラインの引き方を指導する。 ◆叙述に基づいて想像することを伝える。 ・目標を理解し、進んで、「ごんぎつね」を読んで学習計画を立てようとしている。 【観察・発言】(態)
3 本 時	<input type="checkbox"/> 第一場面前半を読み、中心人物の設定をまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>【めあて】</b>            ごんはどんなきつねなのか考えよう。         </div> <input type="checkbox"/> ごんの行動が読み取れる部分に線を引く。 <input checked="" type="checkbox"/> ごんのいたずらの深刻さについて考える。 <input checked="" type="checkbox"/> 主発問 ごんは、どんないたずらをしたのだろう。	・叙述をもとにごんの境遇や行動を読んでいる。 【発言・ワークシート】(知) ◆村人のごんに対する思いを考えさせる。 ・ごんの行動に着目し、ごんに対する村人の気持ちを想像している。 【発言・ワークシート】(思)
4	<input type="checkbox"/> 第一場面後半を読み、ごんの行動の理由を考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>【めあて】</b>            ごんが兵十にどんないたずらをしたのか なぜいたずらをしたのかを読もう。         </div> <input type="checkbox"/> ごんの行動にサイドラインを引き、そのときの心情を余白に書き込む。 <input checked="" type="checkbox"/> 主発問 ごんは、なぜこんないたずらをしたのだろう。	◆叙述をもとに読ませる。 ◆P162の「気持ちを表す言葉」等を参考に、ワークシートに書き加える。 ・叙述をもとにごんの境遇や行動を読んでいる。 【発言・ワークシート】(知)

	<p>○考えを発表し、新たに気付いたことや考えを改めたことなどについて、さらにノートにまとめるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動きや様子を表す言葉に着目して、理解・表現している。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（知）</p>
5	<p>□第二場面を読み、いたずらを後悔しているごんの気持ちを考える。</p> <p>【めあて】 そうしきのときのごんの様子を考えよう。</p> <p>○ごんの行動が読み取れる部分に線を引き、そのときの心情を余白に書き込む。</p> <p>主発問 兵十のおっかあが死んだことを知った時、ごんはどんな気持ちだったのだろう。</p> <p>○ごんの気持ちにどのような変化があったのかをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごんの行動や心内語に着目し、いたずらを後悔していることを読んでいます。</li> </ul> <p>【発言・ノート・ワークシート】（思）</p> <p>◆ごんの気持ちの変化に気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きや様子を表す言葉に着目して、理解・表現している。【発言・ワークシート】（思）</li> </ul>
6	<p>□第三場面を読み、つぐないをするごんの行動と、兵十への気持ちの変化をとらえる。</p> <p>【めあて】 ごんがどうしてつぐないをするのか考えよう。</p> <p>○ごんの行動が読み取れる部分に線を引き、そのときの心情を余白に書き込む。</p> <p>主発問 ごんはなぜ毎日くりや松たけを持っていくのだろう。</p> <p>○初めの頃やうなぎのときとのごんの気持ちの変化を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つぐないをするごんの行動に着目し、兵十への気持ちの変化を読んでいます。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（知）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きや様子を表す言葉に着目して、理解・表現している。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（思）</p>
7	<p>□第四・五場面を読み、兵十と加助の後をつけるごんのことを考える。</p> <p>【めあて】 ごんの心のおくについて考えよう。</p> <p>○ごんの行動が読み取れる部分に線を引き、そのときの心情を余白に書き込む。</p> <p>主発問 ごんは、一体どうしてこのようなことをしているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごんの行動や会話に着目し、ごんの期待と不満を読んでいます。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（知）</p> <p>◆ごんには兵十に気付いてもらいたい気持ちがあることを感じ取れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きや様子を表す言葉に着目して、理解・表現している。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（思）</p>
8	<p>□第六場面を読み、ごんに問いかけた兵十の気持ち とうなずいたごんのことを考える。</p> <p>【めあて】 うたれたごんと、うった兵十の気持ちを考えよう。</p>	

	<p>○ごんの行動が読み取れる部分に線を引き、そのときの心情を余白に書き込む。</p> <p><b>注</b> 問 撃たれたあと、ごんはどのような気持ちだったのだろう。</p> <p>○ごんの気持ちの変化を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兵十の行動や気持ちを表す言葉に着目し、気持ちを想像しながら読んでいる。</li> </ul> <p>【発言・ノート・ワークシート】（知）</p> <p>◆物語の結末はごんにとって納得のいくものだったのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 動きや様子を表す言葉に着目して、理解・表現している。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（思）</p>
9	□単元のまとめをする。	
	<p>【めあて】 学習感想を書こう。</p> <hr/> <p>○単元の学習を振り返り、身に付けた力や活用する場面を確かめる。</p> <p>○学習全体を通した振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中心となる人物の気持ちの変化を考え、それを自分の言葉を使って表現している。</li> </ul> <p>【発言・ワークシート】（思）</p>

9 本時案

(1) 本時の目標（全9時間中の3時間目）

ごんの性格・様子・行動が読み取れる文章に線を引き、ごんはどんなきつねなのか考えることができる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ■評価規準・評価方法
導入	<p>○前時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時→昔</li> <li>・場所→森の中 村</li> <li>・登場人物→ごん 兵十 加助</li> </ul> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ごんはどんなきつねなのか考えよう。</p> </div>	<p>□前時に学習した物語の設定を振り返らせる。</p>
展開	<p>○第一場面前半を音読する。</p> <p>○ごんの様子や行動がわかる部分に線を引く。</p> <p>○ごんのいたずらについて、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんは畑のいもをほり散らして、いもをぐちゃぐちゃにした。</li> <li>・菜種がらのほしてあるのへ火をつけた。</li> <li>・とんがらしをむしり取って台無しにした。</li> </ul> <p>○ごんのいたずらの深刻さについて全体で共有する。</p> <p>○村人たちがごんに対してどう思っているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんで最低なきつねだ。</li> <li>・今度見つけたら捕まえてやる。</li> <li>・絶対に許さない。</li> </ul>	<p>□ごんはどんなきつねなのか考えながら、音読をさせる。</p> <p>□立って自分に聞こえる声で音読し、終わったら着席させる。</p> <p>□初めに学級全体で確かめながら線を引き、その後は個別に線を引かせる。</p> <p>□読み取ったごんの行動から、いたずらばかりしていることを押さえる。</p> <p>□ごんのいたずらの深刻さについて考えさせえる。</p> <p>□線を引いた叙述をもとに、どんなきつねなのか考えさせる。</p> <p>■叙述をもとにごんの境遇や行動を理解している。 【発言・ワークシート】（知）</p>



展開	<p>○ごんはどんなきつねなのかまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いたずらするきつね</li> <li>・ひどいきつね</li> <li>・いたずらするけど、一人ぼっちでさびしいきつね</li> <li>・穴の中に住んでいて、みんなにかまってほしいきつね</li> <li>・ごんはいたずらばかりする、ひとりぼっちのきつね</li> </ul>	<p>■ごんがどんなきつねかについての考えをもっている。 【発言・ワークシート】（思）</p>
まとめ	<p>○本時の振り返り、次時の学習への見通しをもつ。</p>	<p>□「ごんはどんなきつねなのか」についてまとめ、次時への見通しをもたせる。</p>

(3) 板書計画

教科書本文	めあて 「ごんはどんなきつねなのか考えよう」	1つきつね 新美南吉	<p>○村人たちがごんに対してどう思っているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく作ったものを台無しにするなんて最低だ。</li> <li>・火事になったらどうするんだ。絶対にゆるさない。</li> <li>・売るものがなくなってしまう。これからどうすればいいんだ。</li> </ul> <p>○ごんはどんなきつねなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いたずらばかりするきつね</li> <li>・みんなにかまってほしいきつね</li> </ul>
<p>「ごんの様子や行動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑へ入っていもをほり散らかしたり</li> <li>↓ 食べるものがなくなる。</li> <li>・菜種からのほしてあるのへ火をつけたり</li> <li>↓ 火事で家が燃えてしまう。</li> <li>・とんがらしをむしりとったり</li> <li>↓ 売るものがなくなる。</li> </ul>			

## 10 成果と課題

### ◎成果

- ・授業で学んだことをいかして、学習発表会で登場人物の心情を表現することができた。
- ・読書活動や辞書引き学習を通して、文章を書く力を伸ばすことができた。
- ・話型を指導したことで、根拠をもとに意見を述べることができた。今後も継続していく。
- ・授業内で意見交流の場を設けることで、児童の学習意欲を高めることができた。
- ・登場人物の気持ちを考えることを通して、相手を思いやるきっかけを作ることができた。

### ◎課題

- ・辞書引き活動を習慣付ける教師側の工夫が必要である。
- ・話型を使った指導は今後も継続させる必要がある。
- ・単元の活動に合わせて、辞書引き学習を取り入れる。
- ・児童が意欲的に学習の取り組めるような発問の工夫をどの教科でも取り入れる必要がある。